

杉田エース株式会社  
第77期 IR Report

# 株主通信

2022年4月1日～2023年3月31日



証券コード: 7635



## 特集 社長インタビュー

創業100周年に売上高1000億円達成という  
大きな夢に向かっての新たな歩みがスタートです。

TOP  
INTERVIEW

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。当事業年度(2022年4月1日から2023年3月31日まで)の「株主通信」をお届けするにあたりまして、皆さまからの日頃のご支援に対して心より厚く御礼申し上げます。

**Q 第77期の総括**

3年間コロナと闘い、苦しい状況が続きましたが、以前の日常が戻ってまいりました。2022年度単体売上高は623.3億円(前年比110.8%)、粗利84.7億円(前年比109.3%)、連結ベースでは、売上高714.0億円(前年比127.6%)、営業利益92.8億円(前年比333.8%)と単体・連結ともに2年連続で増収増益を果たし、長らく目標としてきましたコミット600を、ついに単体で達成することができました。

第76期も「営業時間維持」「業務プロセス改革」「営業施策の実行」「商談力強化」「卸としての基盤強化」の5施策を実行してきました。営業時間は全社平均で営業工数25%以上を達成、当社ECサイトのスギカウの売上は、今期14.6億円であり前年比で217.8%、重点商材の拡販は

全項目で達成、新商材を活用した商談は継続的に実施できました。物流においては、新潟サテライト倉庫開設、また3月に（株）モリギン社の吸収合併が完了、IT インフラ整備、当初計画していたスギカウ関連の整備が全て完了しました。ウクライナ戦争、国際商品市場の高騰、アメリカの利上げによるドル高円安へのシフトにより、建設資材においても高騰が続いておりますが、資材高騰を追い風に躍進できたことは、弊社の営業努力による価格転嫁が概ねうまく実行できたことだと思います。

### Q 第78期に向けての事業戦略

3月に吸収合併いたしました株式会社モリギンは、ホームセンター専門の商社で、特に蝶番やフック等の商品などを得意としています。顧客も重なっていないので営業面での相乗効果が期待できます。

今期の目標ですが、グループ連結で売上高738億、営業利益10億を目指します。

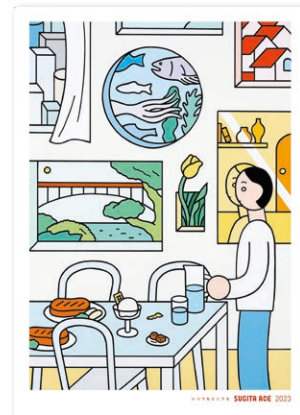
2023年度の方針は4点です。1つ目は「営業時間の更なる拡大」。平均ではなく、個人別で営業工数25%以上の達成と有効面談を増やすことに注力します。2つ目は、「業務プロセス改革」。スギカウ、LINEの活用推進を図ると共にEC売上30億円を目指します。3つ目は「パティ制度の導入」です。今期4月からの新制度で、新入社員・若手社員、中途社員1名に対して同じ職場の先輩1名がつき、日常業務や営業活動において杉田エースとしての一人前になるまでサポートしてゆくきめ細かなOJT教育

になります。4つ目は、「卸としての基盤強化」です。スギカウで受注し、ダイレクトに出荷する配達便の一気に通貫の取扱量を増やすことで、得意先、自社双方の業務負担を軽減・利便性を向上し、売上・利益を向上させていきます。

### Q 長期計画について

2012年度の売上は419億円でしたが、10年で約1.7倍の規模に成長しました。創業100周年1000億円は2022年度売上の1.4倍です。来年は90周年を迎えますが、間違いなく100周年までには1000億は達成という道筋が見えてきました。今後も機会があればM & Aも検討しますが、まずは毎年3%以上の自己成長を目指します。

創業100周年に向けた記念事業として、アートポスターを作成します。毎年、様々なアーティストの方をお願いして、「いつでもどこでも杉田エース」というコンセプトのもと、ポスター制作をします。100周年を迎えた際には、その12枚のポスターを画集としてまとめたいと思っています。「100th&100billion」の達成を目標に社員一丸となり頑張ってまいります。



unpisさんというイラストレーターに描いていただきました。

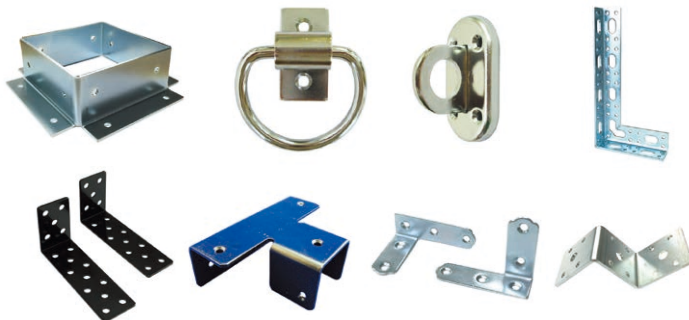
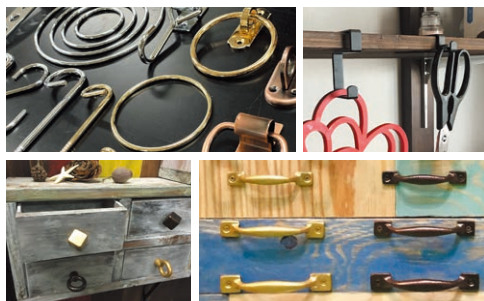
## 2023年3月に株式会社モリギンを 吸収合併いたしました。



【住所】〒334-0013 埼玉県川口市南鳩ヶ谷4-8-8

より一層の経営資源の有効活用と事業運営の効率化が可能となるものと想定しております。当社が持ってない九州方面のホームセンター各社との取引もあり、小さいながらも強みのある会社でした。また、社員の平均年齢も若く、これから杉田エースでの活躍が期待されます。この合併を機に直需事業のさらなる強化を図っていきたいと思っています。

(株)モリギンは、東京都千代田区に本社を置き、埼玉県川口市に物流センターを構える建築金物・建築資材の商社でありました。同社は、創業以来85年に渡る実績と、首都圏を中心に、北海道から九州まで幅広い営業基盤を有し、当社の直需部門の既存ユーザーであるホームセンター向けの販路を確立されておりました。同社と吸収合併により経営統合することで、当社グループの取扱商材が拡大するとともに、当社の全国的な営業網・物流拠点と連携を強化することで、相乗効果により事業収益の増強が期待でき、当社グループの経営基盤を強化・拡充し、さらなる企業価値の向上を図ることが可能になると考えております。また、人材採用・教育を始めとした人材面の強化も共同で図れることから、



# 配送のスピードアップときめ細かなサービス提供の為に 新潟県にサテライト倉庫が完成しました。

高品質かつ均一なサービスを実現する為に、全国 11 ヶ所に流通センターを配備し、最新の物流システムを構築してまいりました。物流の効率化を図る目的で 2020 年に富士にサテライト倉庫を新設、第二弾として 2023 年 5 月、新潟県にサテライト倉庫が新設されました。在庫アイテム数は約 1,500 点。自社配達便を導入し、新潟市内から三条市や長岡市のお客様まで配達し、地域サービスの向上に努めております。

また弊社では、物流業界の 2024 年問題を解決する為、全国で約 60 台の自社トラック便を用意し、スピーディーな配送体制を作っております。



【所在地】 〒950-0141 新潟県新潟市江南区亀田工業団地1-2-5  
【電話】 025-383-5151



福岡流通センター  
福岡県福岡市博多区東比叡3-12-12



大阪流通センター  
大阪府東大阪市稲田三島町1-18



名古屋流通センター  
愛知県名古屋市中北区新沼町85-1



神奈川流通センター  
神奈川県高座郡寒川町倉見813



埼玉流通センター  
埼玉県川越市間腰町5-8



東京流通センター  
東京都台東区入谷2-7-1



大宮流通センター  
埼玉県さいたま市見沼区即町2-6-11



仙台流通センター  
宮城県仙台市若林区即町3-5-16



札幌流通センター  
北海道札幌市東区東苗穂四条 2-1-39



成田流通センター  
千葉県習志郎郡多古町染井 678-1



千葉流通センター  
千葉県千葉市美浜区新港149



## New Product

# 三島食品の人気ふりかけと長期保存食「IZAMESHI」の 人気コラボレーション商品にごはんが登場。

長期保存食「IZAMESHI(イザメシ)」、三島食品の人気ふりかけ「ゆかり®」、「かおり®」、「あかり®」と国産のお米を使ったアルファ化米がセットになった新商品「三島食品×IZAMESHI 三島のゆかり®・かおり®・あかり®とごはん」を2022年12月1日より販売開始しました。



三島食品の人気ふりかけ「ゆかり®」、和風ハーブの青じそふりかけ「かおり®」、ピリ辛まだらこのふりかけ「あかり®」とアルファ化米のごはんがセットになった新商品「三島食品×IZAMESHI 三島のゆかり®・かおり®・あかり®とごはん」の販売を開始しました。熱湯、または水を注ぐだけで、おいしいごはんをお召し上がりいただけるので、災害時のための保存食としてだけでなく、普段のお食事の一品として、海外旅行などお出かけや登山、キャンプといったアウトドアシーンなど、日常の“いざ”というときにぜひご活用ください。

### 【新商品概要】

＜三島食品×IZAMESHI 三島のゆかり®・かおり®・あかり®とごはん＞  
発売日：2022年12月1日(木)  
内容量：103g(アルファ化米100g ふりかけ3g)  
価格：420円(税込454円)  
サイズ：W170xD45xH180mm  
付属品：スプーン1本



＜三島食品×  
IZAMESHI  
三島のゆかり®と  
ごはん＞



＜三島食品×  
IZAMESHI  
三島のかおり®と  
ごはん＞



＜三島食品×  
IZAMESHI  
三島のあかり®と  
ごはん＞

## New Product

# IZAMESHI「煮込みハンバーグ」リニューアル発売 「ひじきときのこのみぞれハンバーグ」新登場！ 2022年7月1日(金)より発売開始。

杉田エース株式会社は、長期保存食「IZAMESHI(イザメシ)」の「煮込みハンバーグ」をリニューアルし、また同時に新商品「ひじきときのこのみぞれハンバーグ」を2022年7月1日(金)より発売開始いたしました。



### リニューアル商品<煮込みハンバーグ>

リニューアル商品

内容量：190g(固形量 80g) 標準小売価格：550円(税込 594円)

◎リニューアル内容

<パテ>

- ・アミノ酸を使わずに作ることで、雑味のない滑らかな味わいになりました。
- ・豚肉の配合を増やし、ふっくらと柔らかなハンバーグに仕上げました。

<ソース>

- ・マッシュルームを追加し、より贅沢感のあるソースに仕上げました。
- ・デミグラスソースの配合を増やし、コクのあるソースに改良しました。
- ・玉ねぎ、人参、セロリの甘みを活かし、アミノ酸を使わずに野菜の旨みを感じられるソースに仕上げました。

<商品全体>

リニューアルに伴い、アレルギー物質4種(卵、乳成分、ゼラチン、りんご)が削除となります。



### ■新商品概要<ひじきときのこのみぞれハンバーグ>

内容量：190g(固形量 80g) 標準小売価格：550円(税込 594円)

◎商品特徴

<パテ>

- ・肉感があり食べ応えのあるハンバーグです。

<ソース>

- ひじき、しいたけ、しめじ、れんこんなどが入った具沢山のみぞれソースです。
- 生姜の風味が優しく広がります。

<商品全体>

化学調味料不使用で、素材のうまみを活かしたおいしさにこだわりました。

### ■長期保存食「IZAMESHI(イザメシ)」

IZAMESHI(イザメシ)は、「消費しながら備蓄する」をコンセプトに、2014年9月に販売を開始しました。災害時の非常食としてはもちろん、忙しい朝や料理に1品加えたいとき、海外旅行などお出かけや登山、キャンプといったアウトドアシーンなど、日常生活におけるさまざまな「イザ」に活躍する、食べる長期保存食です。

## A w a r d

# 防災グッズ大賞 2022において、「IZAMESHI」が 優秀賞、審査員特別賞を受賞しました。

一般社団法人 災害防止研究所主催、株式会社ビジネスガイド社共催の防災グッズ大賞2022が昨年9月に開催され、「三島食品×IZAMESHI 三島のゆかり®・かおり®・あかり®とおかゆ」が優秀賞、「シャンウェイ×IZAMESHI 中華惣菜缶詰」が審査員特別賞を受賞しました。



### ■優秀賞

「三島食品× IZAMESHI 三島のゆかり®・かおり®・あかりとおかゆ®」は、おかゆにふりかけを混ぜるだけで、開けてすぐにお召し上がりいただけます。災害時はもちろん普段使いにもおすすめです。



### ■審査員特別賞

「シャンウェイ× IZAMESHI 中華惣菜缶詰」は鉄板中華 シャンウェイ監修の中華缶詰です。バラエティーに富んだおかず8種類を取り揃えています。

### ■防災グッズ大賞とは…

「防災グッズ大賞」は、「日常生活の中で使われ、役に立つものでなければ、決して災害時に使われることはない」という観点から、毎日、楽しく使うという視点で、災害時に有益な商品が選定されます。

主催：一般社団法人 災害防止研究所 共催：株式会社ビジネスガイド社



## Shareholder benefit program

# 株主優待制度のご案内

2022年3月末日現在の株主名簿に記載のある、100株以上保有の株主様に「IZAMESHI(イザメシ)」を1セット贈呈いたします。



※写真はイメージです。

### 「長期保存食 IZAMESHI(イザメシ)」

備蓄食から、おいしく食べる長期保存食へ。「イザメシ」は、突然の災害時に備えた長期保存食です。おいしさにこだわり、豊富なメニューをとりそろえ、そして、様々なシーンにとけ込むデザイン性にもこだわりました。



## 業績・財務ハイライト

## 営業概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響は続いたものの、行動制限緩和などにより経済活動は正常化へ向けた動きが進みました。一方で急激な為替相場の変動や世界的な原材料価格、エネルギー価格の高騰などもあり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

住宅建設業界におきましては、持家の着工と首都圏のマンション総販売戸数は弱含みで推移し、貸家及び分譲住宅の着工は底堅い動きとなりました。

このような状況の中、当社グループは資本政策として今年3月にホームセンターの販路強化及び拡充を図るために株式会社モリギンを吸収合併し、さらに新規事業の拡充策として、2022年7月から12月にかけて長期保存食「IZAMESHI」の新商品を7アイテム発売しました。

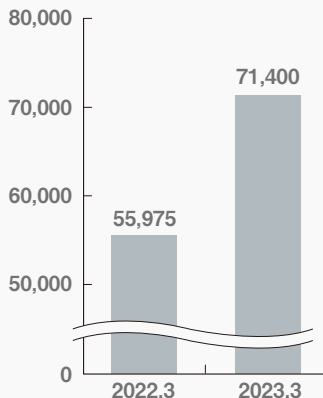
また、建設資材の高騰による仕入価格の上昇に対しては、販売価格への転嫁やVE提案を進めて業績改善を図りました。加えて前連結会計年度末に子会社化したフヨー株式会社の売上が通年で寄与しました。

この結果、当連結会計年度における当社グループの業績は、売上高 71,400 百万円（前連結会計年度比 27.6%増）、営業利益 928 百万円（同 233.8%増）、経常利益 1,091 百万円（同 184.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益 600 百万円（同 164.1%増）となりました。

## 連結財務ハイライト

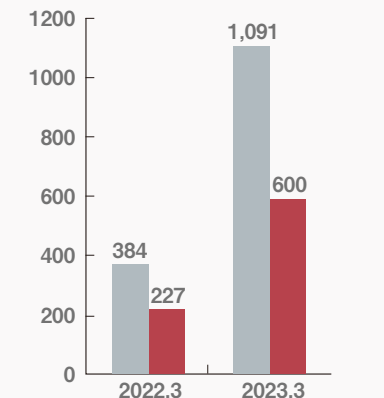
## 売上高

(百万円)



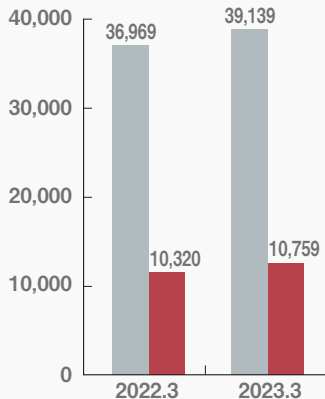
## 経常利益／親会社株主に帰属する当期純利益

(百万円)



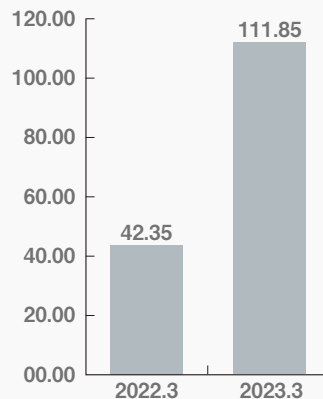
## 総資産／株主資本

(百万円)



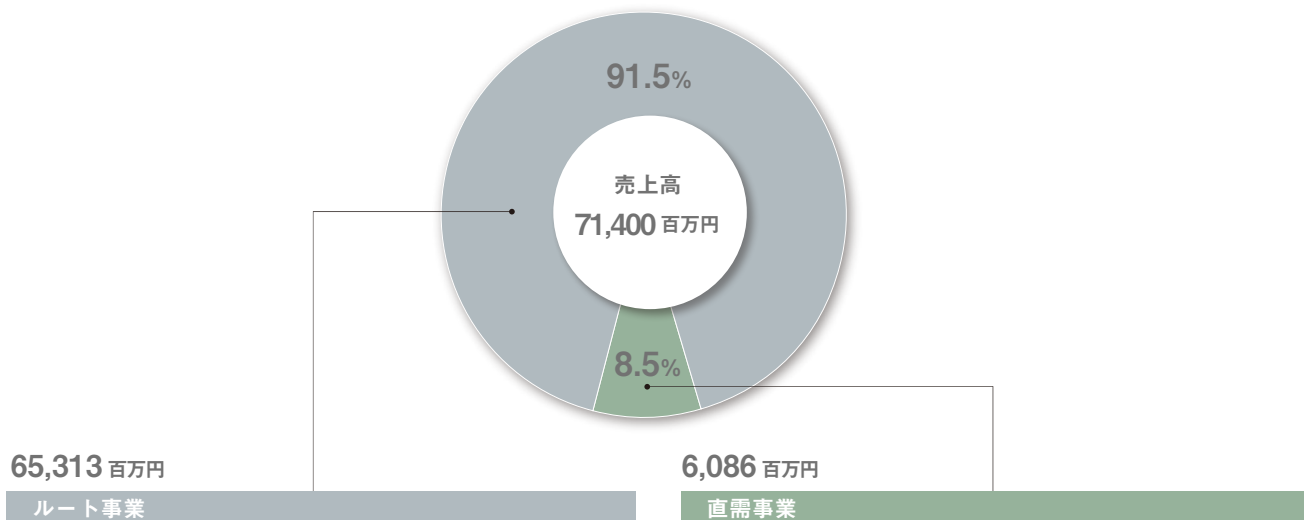
## 1株当たり当期純利益

(円)



(注) 2023年3月期の記載金額は、収益認識基準後で表示しております。

## セグメント状況



65,313 百万円

### ルート事業

ルート事業は、金物販売店や建材商社、金属工事業者等へ住宅用資材及びビル用資材等を販売しております。また、設計・加工・施工機能による現場サポート営業も行っており、リニューアル専門会社、ゼネコン等へ多様な金属建材のオーダー対応等お客様の課題やニーズにあったソリューションの提供を行っております。

ルート事業については、工事物件の物流倉庫やマンション建設等が増加したこと、資材の価格改定前の駆け込み需要も重なったことによりビル用商品、住宅用資材の販売が好調に推移しました。また、フヨー株式会社を子会社化したことにより、シーリング材、防水材等の建築副資材の販売が伸びました。

この結果、ルート事業全体の売上高は 65,313 百万円（前連結会計年度比 29.9%増）となりました

6,086 百万円

### 直需事業

直需事業は、アウトドアファニチャー「PATIO PETITE」や長期保存食「IZAMESHI」、ガーデンアイテム、雑貨、DIY商品等をホームセンター、通販会社等へ販売しております。また、ハウスメーカーや建材メーカーへは OEM 商品を含む建築金物を販売しております。

直需事業については、OEM 関連資材は集合住宅用資材・ビル用資材が横ばいに推移しました。ホームセンター向けの DIY 商品は、巣ごもり需要が減少傾向でしたが、年度末にかけて防犯対策商品の需要が高まり、ホームセンター向けの販売額が増加しました。また、通販関連企業においても防犯対策商品の需要が高まると共に、住宅関連商材は引き続き堅調に推移しました。

この結果、直需事業全体の売上高は 6,086 百万円（前連結会計年度比 7.2%増）となりました。

## 決算レポート

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	第76期 2022年3月31日現在	第77期 2023年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	26,542	29,017
現金及び預金	4,517	4,686
受取手形、売掛金及び契約資産	13,464	14,896
電子記録債権	3,195	3,857
棚卸資産	4,209	4,527
未収入金	1,094	937
その他	59	112
固定資産	10,427	10,121
有形固定資産	6,996	6,852
建物及び構築物	2,799	2,645
土地	4,013	4,013
その他	182	193
無形固定資産	1,368	1,236
ソフトウェア	149	106
のれん	864	778
顧客関連資産	148	133
その他	205	218
投資その他の資産	2,063	2,032
投資有価証券	828	882
繰延税金資産	340	327
その他	894	822
資産合計	36,969	39,139

科目	第76期 2022年3月31日現在	第77期 2023年3月31日現在
(負債の部)		
流動負債	20,066	22,493
支払手形及び買掛金	7,193	7,901
電子記録債務	10,349	11,863
1年内返済予定の長期借入金	839	791
未払法人税等	211	495
賞与引当金	369	419
その他	1,102	1,022
固定負債	6,487	5,787
長期借入金	4,908	4,129
退職給付に係る負債	468	464
役員退職慰労引当金	590	630
資産除去債務	83	83
その他	435	478
負債合計	26,553	28,280
(純資産の部)		
株主資本	10,320	10,759
資本金	697	697
資本剰余金	409	409
利益剰余金	9,217	9,656
自己株式	△ 4	△ 4
その他の包括利益累計額	44	100
その他有価証券評価差額金	51	66
退職給付に係る調整累計額	△ 7	34
純資産合計	10,364	10,859
負債純資産合計	36,918	39,139

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	第76期	第77期
	自 2021年4月1日 至 2022年3月31日	自 2022年4月1日 至 2023年3月31日
売上高	55,975	71,400
売上原価	48,069	61,472
売上総利益	7,906	9,927
販売費及び一般管理費	7,628	8,999
営業利益	278	928
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	14	15
仕入割引	108	138
受取家賃	47	54
保険解約返戻金	—	35
その他	16	39
営業外収益合計	187	284
営業外費用		
支払利息	7	31
手形売却損	10	10
売上割引	59	73
その他	2	4
営業外費用合計	80	120
経常利益	384	1,091
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	73	1
負ののれん発生益	—	35
特別利益合計	73	36
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
店舗閉鎖損失	—	52
減損損益	—	6
特別損失合計	0	58
税金等調整前当期純利益	458	1,069
法人税、住民税及び事業税	204	502
法人税等調整額	25	△ 33
法人税等合計	230	469
当期純利益	227	600
親会社株主に帰属する当期純利益	227	600

(注1) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(注2) 2023年3月期の記載金額は、収益認識基準後で表示しております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	第76期	第77期
	自 2021年4月1日 至 2022年3月31日	自 2022年4月1日 至 2023年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	223	1,412
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 2,634	△ 22
財務活動による キャッシュ・フロー	3,043	△ 1,162
現金及び現金同等物の 増減額 (△減少額)	632	227
現金及び現金同等物の 期首残高	3,826	4,459
現金及び現金同等物の 期末残高	4,459	4,686

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る調 整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	697	409	9,217	△ 4	10,320	51	△ 7	44	10,364
当期変動額									
剰余金の配当	—	—	△ 160	—	△ 160	—	—	—	△ 160
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	600	—	600	—	—	—	600
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	—	—	—	—	—	14	41	56	56
当期変動額合計	—	—	439	—	439	14	41	56	495
当期末残高	697	409	9,656	△ 4	10,759	66	34	100	10,859

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 株式情報

## 株式の状況

(2023年3月31日現在)

- ①会社が発行する株式の総数 普通株式 19,490,000 株
- ②発行済株式の総数 普通株式 5,374,000 株
- ③株主数 6,029 名

## 大株主

(2023年3月31日現在)

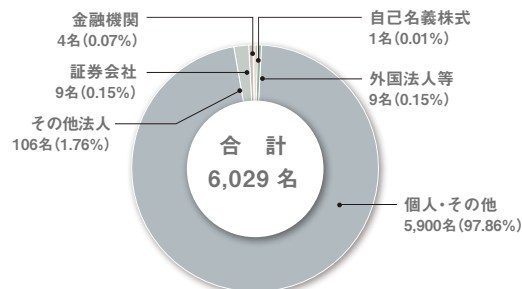
株主名	持株数	持株比率
杉田直良	906,000 株	16.89%
有限会社 杉田商事	730,000 株	13.61%
杉田裕介	260,000 株	4.85%
株式会社 三井住友銀行	195,000 株	3.63%
杉田エース従業員持株会	183,412 株	3.42%
東京中小企業投資育成 株式会社	159,500 株	2.97%
株式会社 ナスタ	117,800 株	2.20%
株式会社 ダイケン	93,800 株	1.75%
株式会社 千葉銀行	72,000 株	1.34%
杉田力介	70,000 株	1.30%

(注) 持株比率は自己株式(8,853株)を控除して計算しております。

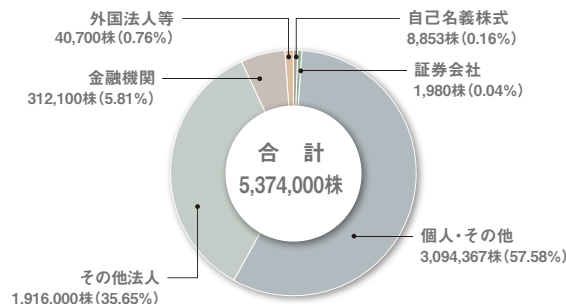
## 株式分布状況

(2023年3月31日現在)

### 株主別分布状況

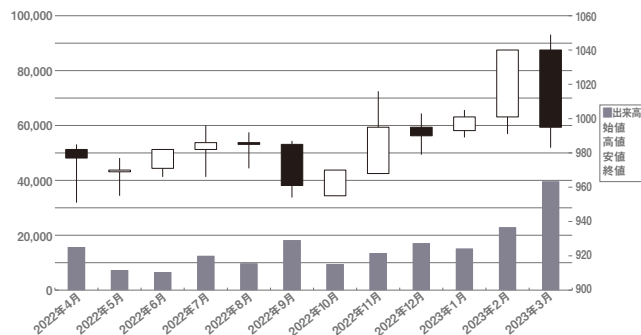


### 所有株式数別分布状況



## 株価の推移

(2023年3月31日現在)



## 会社情報

## 会社概要

(2023年4月1日現在)

商号	杉田エース株式会社 SUGITA ACE CO.,LTD
所在地	東京都墨田区緑二丁目14番15号
設立	1948年9月
資本金	697,240,600円
従業員数	899名(グループ合計)
主な事業内容	建築金物、建築関連資材および、DIY用品の卸売ならびにこれに付帯する業務。

## 主な事業所

(2023年4月1日現在)

本社事務所	東京都墨田区緑二丁目14番15号
営業部等	北海道・東北・東京・西関東・北関東・中部・近畿・中四国・南日本・直需
流通センター	札幌・仙台・東京・千葉・成田・埼玉・大宮・神奈川・名古屋・大阪・福岡
グループ会社	水沢エース株式会社 フヨー株式会社

## 取締役及び監査役並びに執行役員

(2023年4月1日現在)

代表取締役会長	杉田直良
代表取締役社長	杉田裕介
取締役副社長	杉田力介
専務取締役	佐藤正
常務取締役	花井慎一
取締役	高橋芳郎
取締役	井関誠
取締役	蜷木勝一
取締役	島田直樹
常勤監査役	北川達也
監査役	貫井康夫
監査役	川口伸
執行役員	瀧山吉彦
執行役員	滝昇悟
執行役員	清野賢太
執行役員	福山潤之輔
執行役員	和泉澤弘樹
執行役員	昆布光正
執行役員	上田嘉信
執行役員	三好健司
執行役員	小林寛
執行役員	高橋敏明
執行役員	岡田努
執行役員	原田人史
執行役員	萩原裕司

(注) 1. 取締役 島田直樹氏は社外取締役であります。  
2. 監査役 貫井康夫・川口伸の両氏は社外監査役であります。



## 株主メモ(株主のご案内)

■事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
■定時株主総会 毎年6月開催  
■基準日 定時株主総会 毎年3月31日  
期末配当金 毎年3月31日  
中間配当金 毎年9月30日  
その他必要があるときは、  
予め公告して定めた日

■株主名簿管理人  
及び特別口座の  
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

■株主名簿管理人  
事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先)  
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) ☎0120-782-031  
(インターネットホームページ URL)  
<https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

■公告掲載新聞 日本経済新聞

株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

杉田エース株式会社

〒130-0021 東京都墨田区緑二丁目14番15号  
TEL.03-3633-5150 FAX.03-3633-5023

当社に関する情報についてはホームページでもご覧いただけます。

<https://www.sugita-ace.co.jp>